

# 江南区自治協議会通信

ホームページ：http://www.city.niigata.lg.jp/konan/torikumi/kyougikai/index.html

発行：江南区自治協議会  
編集：広報紙発行特別部会  
(事務局：江南区役所地域課内)  
〒950-0195 新潟市江南区泉町3-4-5  
電話：025-383-1000(代表)  
FAX：025-381-7090

## 自治協議会とは？

### 地域(区民)と区役所(区長)をつなぐ「かなめ」

- ・区の特徴を活かした魅力あるまちづくりを進めるために設置された市の附属機関です。
- ・区民の多様な意見の調整や取りまとめを行い、区役所と連携して地域課題の解決に取り組みます。
- ・市の計画や公共施設の設置など、市からの諮問について意見を述べます。



### 具体的にはこんなことをしています

- ・毎年実施されている江南区の特徴ある区づくり事業の企画に際し、地域の意見として、提案や要望などを区に伝えています。
- ・自ら企画、実施している自治協議会提案事業では、地域の標高を知る取り組み、子どもたちと一緒に区内の課題などについて考える取り組み、地域防災力強化のための防災教室開催などを行ってきました。

## 第5期の活動を振り返って

江南区自治協議会 会長 豊岡 克



第5期(平成27~28年度)を振り返ると、特別部会を設置し、検討した3点が特筆されます。

一つは、区内の一部自治会から要望されていた合併に起因する防犯灯の不公平感解消。これには、自治協議会として直接対応はしないが、自治協議会の意向を反映させた、防犯灯を含む区内の安心、安全な地域づくりの推進を図ることを目的とした事業を平成28年度から特色ある区づくり事業として実施しました。区内各地域コミュニティ協議会から、防災・防犯・交通安全にかかわる事業が展開されました。

二つめは、平成29年度に江南区誕生10周年を迎えることから、区民のさらなる一体感の醸成に繋げるため、記念事業を実施することを決定し、企画・立案を行いました。未来を担う子ども達に

光があたるように検討を重ね、子ども達から見た江南区のイメージを歌詞に盛り込んだ「江南区の歌」を作ることとしました。

三つめは、区と協働で、今後の区のみちづくりについて検討する中で、まちづくりに関する現在の市の方向性と地域の考え方に少し乖離があることから、その対応を検討しました。この問題について、すでに検討中であった、亀田商工会議所中心の勉強会にも参加し、意見をまとめて、市に対して地域の考え方を要望書として提出しました。

委員が一つになり一定の成果をあげることができたと思います。次期江南区自治協議会の一層の充実を期待します。

## 区自治協議会委員の任期を終えて

3月末で退任する委員が、これまでの活動を振り返っての想いや今後期待することなどを語ります。

○亀田小学校区コミュニティ協議会/岩瀬 耕一  
前任者の残任期間を含めて5年間、委員をさせていただきました。行政の活動を理解すると同時に、地域の要望を聞いていただく良い機会が自治協議会なのだということを改めて理解することができました。ありがとうございました。

○大江山地区コミュニティ協議会/小林 勲  
在任期間中は、まちづくり部会に所属し、様々な観点から江南区の進むべき方向を考えてきましたが、なかなか思うような成果を上げられなかった感があります。合併建設計画も終わり、五つの地区ごとに進めていかなければならない課題も多いと思います。次のステップに向けて、江南区の益々の発展に期待します。

○新潟県看護協会/若槻 宏子  
多くのことを学び、多くの方との出会いがありました。その中で、自殺予防対策を具体的に立ち上げることを一緒にできたことが、専門職として参加して良かったと考えています。この町がますます住みたくなる町になるよう期待しています。



○公募委員/今井 麻奈美  
横越地区在住 子育て真っ最中 33歳普通の主婦です

《公募委員へ応募したきっかけ》  
こどもたちにとって、生まれ育っていくこのまちは大切な「地元」。その地元が大好きになったらいいなという想いから、地域のために何かできることがあればと思い、応募しました。

## 自治協議会委員としての意見が区に届き、「特色ある区づくり事業」の中に活かされました!

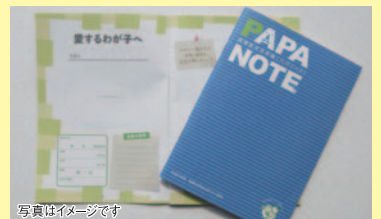
こどもたちが、学校と家庭以外に安心して過ごせる第三の居場所があったら…  
《平成26~27年度事業》  
→未来へつなごう! 中高生「やりたいこと」応援プロジェクト



BP(親子の絆づくり)プログラムを初めて子育てをするすべてのお母さんへ初めての出産・子育てって不安がいっぱい。自分で得られる情報には限りがあるけれど、行政発信ならすべての親子にちゃんと届くかもしれない…  
《平成28年度事業》  
→初めての子育て支援事業フォローアップ



江南区でもパパノートを作りたい どう子育てに関わっていいかわからない パパにもっと関わってほしいママの架け橋になるかも…  
《平成29年度事業》  
→パパの子育て・情報発信支援事業



《自治協議会公募委員の四年間》  
右も左もわからず入った自治協議会でしたが、子育てのほんのちょっとした悩みや生活している中での困りごとなど、相談することで解決に向かうことがたくさんあるんだと知り、とても勉強になった四年間でした。今年度で任期は終わりますが、ここに集まるみんなが、江南区のことを一生懸命考えて知恵を出し合っているのだということを感じ、もっと多くの方に自治協議会の存在を知っていただけたらと思います。



広報紙発行特別部会 環境・教育部会(会議中の意見を整理)



自治協議会本会議 自治協議会での様子



# 部会の活動状況

今年度の各部会の取り組みを紹介します。

## まちづくり部会

道路、公共交通、産業振興、コミュニティなど

### 大江山地域住民と児童生徒との絆づくり事業

住民相互のつながりや絆づくりを育むため、挨拶運動ののぼり旗を作成し、小中学校の児童と地域住民が一緒になって各学校周辺で挨拶運動を実施した。

- ◆強調週間 9月26日(月)～30日(金) 大江山地区小中学校の各校門前、通学路
- ◆参加：657名(児童・生徒565名、学校関係者等44名、コミュニティ協議会48名)

### 地域の歴史・伝統を知り、地域を大好きになるプロジェクト



「大岩万燈」「亀田縞」といった地域の伝統や歴史について、講話やワークショップ、かめだ祭りなど、地域住民、児童と一緒に体験・学習した。

- ◆かめだ祭り(岩万燈) 平成28年8月26日(金)
- ◆ワークショップ 平成29年1月23日(月) ◆参加：156名

### 新コミュニティ協議会設立記念事業



曾野木地区コミュニティ協議会設立を契機に、地域住民の一体感醸成を図るため、シンボルマークの作成や、自治会対抗フロアカーリング大会を実施した。

- ◆平成29年1月21日(土) 曾野木中学校体育館 ◆参加：300名

## 環境・教育部会

生活環境、教育、生涯学習、文化、スポーツなど

### きれいなまちづくり運動

花の開花時期・植えつけ方法などを学習後、プランターへの植栽や昼食会で参加者の交流を深めながら、地域を花できれいに飾った。

- ◆平成28年6月11日(土) 亀田地区コミュニティセンター
- ◆参加：106名(児童・生徒50名、保護者37名、スタッフなど19名)

### 大江山公園にぎわい創出事業

地域の子どものための「大江山公園をもっとにぎわいのある公園にしたい」という声を活かすため、道路案内標識設置、アンケート調査やパンフレット作成などを行った。

- ◆道路案内標識設置 1基
- ◆アンケート調査実施 回答数：322件
- ◆パンフレット作成 5,000部



## 安心安全部会

防犯、防災、交通安全、地域医療、福祉など

### 防災教室「江南区での水害を想定し、地域のリーダーとして何をすべきか」

水害発生時において、行政と地域住民との役割分担や自治会長等に求められる事項などについて学習した。

- ◆平成28年12月5日(月) 曾野木地区公民館 参加者40名
- ◆平成28年12月6日(火) 江南区役所 参加者60名
- ◆平成28年12月7日(水) 横越地区公民館 参加者50名



## 区自治協議会委員研修会レポート



地域資源である新潟市中央卸売市場の機能等を知ること、秋葉区自治協議会委員と地域資源の活用方法等について意見交換を行うため、委員研修会を開催しました。他区の委員の意見や情報は、とても参考となりました。

11月7日、秋葉区自治協議会と合同で新潟市中央卸売市場を視察しました。市場の成り立ちなどをスライドと共に説明していただき、日本の卸売市場では、築地に次いで二番目の規模と知りビックリ！地域の子も達と一緒に見学したときには知りえなかった情報もたくさん教えていただきました。

その後、市場内の食堂でおいしい昼食をとり、午後からは、地域資源についてのワークショップを行いました。それぞれの地域には、たくさんの地域資源『お宝』があり、これをもっと活用し、地域の活性化につなげていきたいと思いました。

大江山地区コミュニティ協議会 比企 裕子

日時：平成28年11月7日(月)  
午前11時～午後3時  
会場：新潟市中央卸売市場  
参加：江南区自治協議会 18名  
秋葉区自治協議会 15名



## “新潟ハーフマラソン2017”に協力団体として参画

### 明日、3月20日(月・祝) 午前8時スタート

※沿道からのご声援をよろしくお願いします！

この大会は、ビッグスワンスタジアムを始発点とし、江南区内(鳥屋野瀨南部)を主なコースとして、今年初開催されるハーフマラソンです。参加者は、約4,000人、その中には日本のトップレベルの有力選手も含まれています。

江南区自治協議会は、この大会に協力団体として参画し、当日は、エイドステーションで選手の水分補給のお手伝いを行います。

江南区内を真剣に走るランナーの姿を沿道からご覧いただき、あたたかい声援をお願いします。

